

発言数
提案数
政策力



公約結果報告

活動結果

しずま たち 静馬

2018年選挙時公約の結果報告

前回の県議選挙時に皆様に示した「5分野12公約」の活動結果です
私は初当選した2006年の選挙時より公約を活動結果として毎回示し、今回で4回目となります。

教育・子育て

一人の父親として、子育て政策の実現を

文化・観光

時と人が織りなす文化の再興

1 県内保育園 386名 (H30)の待機児童を0名にします

待機児童数 **386**名 (H30) ⇒ **13**人 (R3)

※ 令和2年時点で193名いた待機児童を解消出来ない要因は、女性の就業率向上による入所希望者の増加や保育士不足

◎ 発生要因解消のため「いばらき保育人材バンク」**34**人 (H30) ⇒ **92**人 (R3)

◎ 新施策「保育士就学資金貸付」211件 (R3)

【代表的提案】 保育所新設よりも県が優遇策を提示し、国の補助に頼らずに県独自の補助で企業内保育所設置を促進



R2中間自己評価
60点

自己評価
90点

2022.3.23 茨城新聞

2 放課後の居場所づくり(学童保育)の環境整備を推進します

放課後児童クラブ実施箇所数 **961**箇所 (H30) ⇒ **1,105**箇所 (R3)

【代表的提案】 「設置箇所を増やす事も大事であるが、勉強や社会生活を学ぶ場、地域の歴史や伝統を地域の方から学べる場にするべき」
「児童クラブと放課後子ども教室の一体的運営の構築」

R2中間自己評価
30点

自己評価
50点

3 親学習というべき「家庭教育向上と支援」の充実を図ります

◎ 訪問型家庭教育支援 (子育てに不安や悩みを抱える家庭に対し、地域の人材を活用した訪問型教育支援事業)

754件・**7**市町村で実施 (H29) ⇒ **2,306**件・**19**市町村で実施 (R3)

◎ 家庭教育支援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」運営 (家庭教育や子育てに関する情報や学びの機会を提供するサイト)

54,090アクセス ⇒ **843,292**アクセス (R4)

R2中間自己評価
30点

自己評価
50点

4 偕楽園を有料化し、偕楽園公園の魅力向上を推進します

◎ 有料化開始 (県外からの入園者のみ有料となり、残念ながら全入園者有料という提案は実現できず)

◎ バリアフリー化、トイレの洋式化、園路の改修、砂利地盤安定材の導入

【代表的提案】 「県民、水戸市民の声が届く環境整備と運営体制の構築」 「偕楽園の魅力向上」
「バリアフリー化」 「ライトアップ事業」



2018.2.8 茨城新聞

R2中間自己評価
80点

自己評価
80点

5 茨城国体後のアスリート育成とスポーツ環境の充実を推進します

◎ 「ジュニアアスリート発掘・育成事業」「世界へ羽ばたくトップアスリート事業」開始

◎ 施設整備に関しては、県営球場や県武道館での成果は得られなかった

【代表的提案】 「子供たちに特化したアスリート育成」



R2中間自己評価
50点

自己評価
50点

2020.11.16 茨城新聞

6 魅力度ワースト1位を返上するための観光施策を推進します

魅力度ランキング **47**位 (H30) ⇒ **47**位 (R3)

◎ 北関東 (茨城・群馬・栃木) 観光振興議員連盟を発足、高速道路ドライブ割引『北関東周遊フリーパス』実現
※2022年4月1日～11月30日のうち、連続する最大2日間または3日間、対象エリア内の高速道路が使い放題となるお得な割引商品

◎ 茨城県宿泊促進事業「いばらき応援割」の実施 (R2) 「いばらきあんしん割」の実施 (R3)、継続 (R4)

◎ コロナ禍での観光事業者 (ホテル・旅館・バス・タクシー・飲食店・土産物等) への支援

【代表的提案】 「農産物のトップブランド化推進」「食をメインとした観光振興の推進」

「コロナ禍とコロナ後を見据えた県内宿泊事業者・飲食店・観光バス・タクシー事業者への支援」



R2中間自己評価
60点

自己評価
90点

2022.11.22 茨城新聞

2022.3.26 茨城新聞

7 犬猫の殺処分0を目指します（譲渡するのに適切でない殺処分をゼロにする）

R2中間自己評価
80点

自己評価
100点

◎ 犬猫殺処分ゼロを3年連続達成。 ※茨城県のガイドライン ①不治の病気や攻撃性があり譲渡に適切できない。 ② ①以外の殺処分。 ③収容中の死亡。
※平成14年(2002年) 県議初当選時、犬10,713頭の殺処分。平成17年から8年連続で全国ワースト1でした。

犬 **173** 頭 ⇒ **0** 頭

①譲渡に適切できない **155** 頭 ⇒ **0** 頭 ②その他の殺処分 **18** 頭 ⇒ **0** 頭 ③収容中の死亡 **62** 頭 ⇒ **37** 頭

猫 **11** 頭 ⇒ **1** 頭 ※水戸市動物愛護センターでの重度の負傷による安楽死の1頭

①譲渡に適切できない **0** 頭 ⇒ **0** 頭 ②その他の殺処分 **0** 頭 ⇒ **0** 頭 ③収容中の死亡 **200** 頭 ⇒ **200** 頭

【代表的提案】 「ご協力いただいている愛護団体への支援と補助制度の確立」 「動物愛護基金の創設」 ※数値はH30→R3の推移
「県立動物愛護センターの建設」

2022.5.25 茨城新聞



8 いばらきの環境をキレイにします

R2中間自己評価
30点

自己評価
50点

◎ 1人1日あたりのごみ排出量 **990** g (H30) ⇒ **969** g (R3)

◎ リサイクル率 **21.3** % (H30) ⇒ **20.7** % (R2)

◎ 水質の浄化：霞ヶ浦の水質 COD **7.3**・窒素 **1.0**・りん **0.095** (H30) ⇒ COD **7.3**・窒素 **0.94**・りん **0.10** (R2)

千波湖の水質 COD **14.0**・窒素 **2.5**・りん **0.180** (H30) ⇒ COD **10.3**・窒素 **2.00**・りん **0.11** (R2)

【代表的提案】 「霞ヶ浦や千波湖の水質浄化についてこれまでの事業の見直し」 「ごみの減量・リサイクルの方法」

9 障がいを持つ人の環境整備と雇用を推進します

R2中間自己評価
80点

自己評価
80点

◎ 県障がい者施設「あすなろの郷」新規建て替えと県社旗福祉事業団による運営の決定。
(あすなろの里とは、最重度の障がい者施設です。)

◎ 行政機関（県）における障がい者の雇用。

知事部局 **107**人、教育庁 **341**人 (H30) ⇒ 知事部局 **181**人、教育庁 **500**人 (R3)

◎ 私の提言により、全ての県有施設の清掃業務入札において、障がい者の雇用を条件化することにより
57名の障がい者が雇用をされました。

【代表的提案】 「あすなろの郷 建て替えと運営のあり方」 「障がいを持つ方の雇用促進」



2020.12.5 茨城新聞

10 安心できる医療と福祉（介護）の環境を整備します

R2中間自己評価
50点

自己評価
50点

◎ 女性スタッフだけによる検診バス実施。ショッピングモールを会場とする乳がん検診の試行実施。

◎ がんに罹患した方へウィッグや補正下着の補助を行う事業。助成実績 **380** 件 (H30) ⇒ **745** 件 (R2)

◎ がん専門医療機関におけるデイケアサロン設置・運営に対する助成。

本県のがん検診受診率（国民生活基礎調査）※数値は H25→R2の推移

胃がん 39.5%→47.9%

肺がん 44.2%→52.0%

大腸がん 36.8%→44.1%

乳がん 44.8%→46.2%

子宮頸がん 41.7%→41.7%

【代表的提案】 「がん検診体制の整備」 「女性の目線に立ったがん対策の推進」 「HPV-ヒトパピローマウイルス検査の実施」 「介護に対する取組」
「新型コロナウイルス感染症に対する保健所、医療の対策」 「医師確保策」 指導医の確保。他県で働く県出身者医師を呼び戻すUターン施策。修学資金対象者の引きとめ策。

11 議会改革を推進します（全国都道府県議会で議会改革1位を目指します）

R2中間自己評価
80点

自己評価
100点

◎ 議会改革度調査 都道府県議会部門 **11** 位 (H30) ⇒ **1** 位 (R3)

◎ 全体（市町村議会も含む約1500議会） **143** 位 (H30) ⇒ **12** 位 (R3)

議会改革度調査：早稲田大学マニフェスト研究所が調査した地方議会の改革度ランキング「議会機能」「情報共有」「住民参画」の視点で毎年公表

【代表的提案】

「議会改革推進会議 座長代理」として全国初の休日議会開催など全31項目について改革を提案実行

「パートナーシップ条例改正案」の修正案可決（県政史上初めて）

「ジンベイザメ展示に向けた大洗水族館新館整備」の予算修正案可決（県政史上72年ぶり）に先導的役割を果たす



2021.11.29 茨城新聞

2022.5.14 茨城新聞



12 県民参加型の茨城県版事業評価を実現します

R2中間自己評価
0点

自己評価
100点

◎ 県民参加の議会モニター制度を導入し、県民からの県政への提言を積極的に受け入れる制度を作成

◎ 来年度予算に繋がり、県事業の評価を行う、新たな決算特別委員会の制度改革を行いました。

【代表的提案】 「県民参の参画できる議会のあり方」、「議会側からの県民への情報発信と共有」

2022.6.12 茨城新聞

